

今月の ひとこと

かつてニューヨークで親しくしていたファンド・マネジャーはこんなことを言っていました。

「私は予期せぬ出来事に対するポートフォリオの防衛策を常に講じている。私の相場シナリオがはずれたときに株価が大幅高をし、当たった時にもそこそこの動きをしそうな銘柄を組み入れるようにしている」

「重要なルールは自分を知ることである。自分の強みと弱みをよく認識するのである。私は会社の財務分析は人並み以上であると思っているが、売買のタイミングについてはあまりうまいとは言えない。このようにはっきりと自分の欠点を認識していることが大切なのだ」

多数の海外のファンド・マネジャーたちと交流させてもらいましたが、共通して言えるのは本当にすばらしい人ほど自信に満ち溢れているという感じがしないということです。むしろ、「謙虚であること」、「自分が間違えることを常に想定していること」、「自分の弱みをよく知っていること」などが特徴なのではないかと思いません。

~~~~~

FACEBOOK上でクラブ・インベストライフの仲間が活発な議論をしています。FACEBOOKに登録している方、ぜひ、ご参加ください（2017年3月13日現在で参加者数は3428名です）

## クラブ・インベストライフとは？

人生を通じての長期投資は孤独な長旅です。この長旅に耐え、大きな喜びを得るには、資産運用を行うための基礎となる知識と孤独な旅を支えあう仲間が必要です。「将来の自分はいまの自分が支える」ほかない時代、クラブ・インベストライフの活動は、豊かで幸せな人生のための投資を目指しています。

毎月、ネット上で会報誌を公開するほか、FACEBOOKやTwitter上で議論の場を提供し、各地でのセミナーを開催しています。

まったく投資の経験のない方も多数、参加しておられます。大手金融機関から完全に独立しているので、特定の商品をお勧めすることも販売することも一切ありません。

## <FACEBOOK、TWITTERへの 投稿の際のお願い>

1. 個別商品の販売・推奨、あるいはそれに類する投稿はご遠慮ください
2. 発言はあくまで個人としてのものとしてください
3. 企業広告はご遠慮ください

## I-OWAマンスリー・セミナー講演より 2017年世界市場展望

講演：馬淵 治好氏 レポーター：赤堀 薫里



2017年は、目先一度調整がおきるでしょう。ただ、大きな流れでは明るい基調であり、今年は全般的に株や外貨が上がり気味になると思います。一番相場が高い時期は年末ではなく、年央（7～9月）。世界的に株は高くなるでしょう。そして年末に向かってくたびれると考えています。

[読んでみる](#)

## I-Oウェルス・アドバイザーズ のメール・マガジン

メルマガへのご登録は下記のメールアドレス宛に、空メールを送信下さい。購読は無料です。

[mag@i-owa.com](mailto:mag@i-owa.com)

毎月15日配信 無料

## I-OWAマンスリー・セミナー座談会より どうなる、中国、アメリカ

座談会：馬淵 治好氏、参加者のみなさま レポーター：赤堀 薫里



今年を占う上でも要注目中国とアメリカの今後について座談会をしました。

[読んでみる](#)

## Facebook

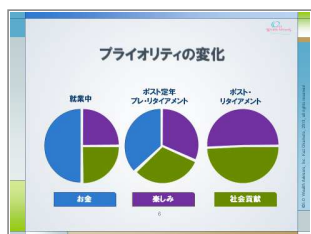
Facebook上のグループ、クラブインベストライフ  
<http://www.facebook.com/groups/investlife/>

Facebookへの登録が必要です。リクエストボタンを押して入会申し込みをしてください。

[Facebookへはこちらをクリック](#)

## 岡本和久講演より 「さあ、どうする！50歳」

講演：岡本 和久



50歳になりました。給料もそれなりに増えましたが、生活費もかかります。社内での先も見えています。将来のための蓄えはあまりありません。 残念ながらですが・・・、どうしたらいいでしょう。アドバイスお願いします。

[読んでみる](#)

Twitter上のグループ  
クラブインベストライフ  
[http://twitter.com/c\\_investlife](http://twitter.com/c_investlife)

Twitterへの登録が必要です

[@c\\_investlifeさんをフォロー](#)

## 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸氏

★シロツメクサ（漢字表記は？） ★ダモクレスの剣（The Sword of Damocles） ★血税 ★月並み ★飛行機の出入り口はなぜ左側か

[読んでみる](#)

- [2017年02月15日発行 Vol.170](#)
- [2017年01月16日発行 Vol.169](#)
- [2016年12月15日発行 Vol.168](#)
- [2016年11月15日発行 Vol.167](#)
- [2016年10月17日発行 Vol.166](#)
- [2016年09月10日発行 Vol.165](#)
- [2016年08月15日発行 Vol.164](#)

## 中国がわかるシリーズ38 モンゴルの勃興

ライフネット生命保険株式会社 代表取締役会長兼CEO、出口 治明氏

テムジン、のちのチンギス・칸の登場です。

[読んでみる](#)

### ウェブ化以前のバックナンバー

2012年12月までに発行されたインベストラ이프をご購入いただけます。

[購入・詳細](#)

## I-OWAマンスリー・セミナー講演より 江戸に学ぶシリーズ (3) 江戸時代の経済思想

講演：岡本 和久 レポーター：赤堀 薫里



井原西鶴先生は日本永代蔵で有名です。「永代蔵」という言葉は非常に大きな意味を持っています。永代とは時間的に制限がない、極めて長期、子々孫々、代々つながるという意味です。蔵というのは財産全体のポートフォリオ。つまり、「永代蔵」というのは、非常に長期のポートフォリオという意味で、それをどういう風に管理していくのかが、彼の大きなテーマであったのです。

[読んでみる](#)

## 参考データ・コーナー

### 基本ポートフォリオのパフォーマンス

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン/投信まとなび

2月の成長型ポートフォリオのパフォーマンスは四資産型が+0.80%、二資産型が+1.00%でした。

[読んでみる](#)

### 投信データ・ウォッチ

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン/投信まとなび

今回は直販投信のデータを比較していただきました。

[読んでみる](#)

## I-OWAたより

### 岡本和久のI-OWA日記

★大先輩お二人とのランチ ★東京大神宮の初午祭に展示されている歌舞伎俳優揮毫の絵馬を見ってきました ★「春日大社 千年の至宝」展 ★カレーうどん千吉 ★今日もお天道様は元気です！ ★猿若祭二月大歌舞伎 二人にお疲れさま ★資産運用ごぼれ話 トランプさん、お金は大事ですね ★第137回 I-OWAマンスリー・セミナーが開催されました ★リカルド・ガレン\*中島 麻 ギター&ヴァイオリンコンサート

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

### セミナー案内

3月19日(日) 12:30~16:30 I-OWAマンスリー・セミナー(138回) 会場：東京都渋谷区広尾1-8-6-7F(当社オフィス)  
「日本証券市場：成長期」(岡本 和久)、「歴史的な視点から現在の金利、金融の状態をどう評価するか」(東京海上アセットマネジメント・運用戦略部長 平山 賢一氏)、フリー・ディスカッション&懇談会、スポット受講料： 教室での受講は10000

円+税 予約必須、動画での受講は5000円+税

+++++

3月25日(土) 14:00~16:00 I-OWA/インベストライフ講演会in富山 人生を通じての「かんたんすぎる」資産運用・はじめの第一歩~相場観不要、銘柄選択力不要、経済予測も不要のシンプル運用~・歩き続ける耐久力アップ~相場に惑わされずバブルや暴落を乗り切る知識と心構え~★投資、資産運用初心者未満の方、大歓迎 講師:岡本 和久 CFA 会場:富山県民会館 会議室 6 1 2 号室 富山県富山市新総曲輪4-18 参加費:前払いの方は2000円、当日お支払の方は2500円 定員:35名 お申込み (Peatix): <http://peatix.com/event/230086> ネット (Peatix経由) 申し込みでなくチケット購入をご希望の方は横山純子さま (yokojunn@gmail.com) まで

+++++

3月26日(日) 14:00~16:00 I-OWA/インベストライフ講演会 in 金沢 (協賛:マハリシ総合教育研究所) ・人生を通じての「かんたんすぎる」資産運用~相場観不要、銘柄選択力不要、経済予測も不要~・瞑想で拓く ハッピー・ライフ、ハッピー・マネーへの道・質疑応答★投資、資産運用未体験者の方、大歓迎★齋藤 晶子氏(TM教師)より超越瞑想・純粋意識の体験などにつき解説をいただきます 講師:岡本 和久 CFA、齋藤 晶子氏(マハリシ総合教育研究所 金沢オフィス代表、TM教師) 参加費:前払いの方は2000円、当日お支払の方は2500円 定員:30名 お申込み (Peatix): <http://peatix.com/event/229484> ネット (Peatix経由) 申し込みでなくチケット購入をご希望の方は谷崎由美さま (yokojunn@gmail.com)、齋藤晶子さま (asaito@maharishi.or.jp) まで

+++++

4月1日(土) 13:30~15:30 I-OWA/インベストライフ講演会 in 京都 (協賛:マハリシ総合教育研究所) 岡本 和久講演・私と瞑想・誰でもすぐできる「かんたんすぎる」資産運用 ~相場観不要、銘柄選択力不要、経済予測も不要~・瞑想で拓く ハッピー・ライフ、ハッピー・マネーへの道・質疑応答★投資、資産運用未体験者の方、大歓迎★川井 悠央氏(TM教師)より超越瞑想・純粋意識の体験などにつき解説をいただきます 講師:岡本 和久 CFA、川井 悠央氏(マハリシ総合教育研究所 京都オフィス代表、TM教師) 参加費:前払いの方は2000円、当日お支払の方は2500円 定員:40名 お申込み (Peatix): <http://peatix.com/event/229484> ネット (Peatix経由) 申し込みでなくチケット購入をご希望の方は川井 悠央様 (ykawai@be-japan.jp) まで

+++++

4月16日(日) 12:30~16:30 I-OWAマンスリー・セミナー (139回) 会場:東京都渋谷区広尾1-8-6-7F (当社オフィス) 「日本証券市場:戦時体制期」(岡本 和久)、「信託スキームの使い方」(コンサルオフィスNAGAI 成蹊大学経済学部非常勤講師 永井 勝巳氏)、フリー・ディスカッション&懇談会、スポット受講料: 教室での受講は10000円+税 予約必須、動画での受講は5000円+税

+++++

5月14日(日) 12:30~16:30 I-OWAマンスリー・セミナー (140回) 会場:東京都渋谷区広尾1-8-6-7F (当社オフィス) 「日本株式市場史~戦後期」(岡本 和久)、「個人投資家のためのエンゲージメント」(明治大学商学部教授 三和 裕美子氏)、フリー・ディスカッション&懇談会、スポット受講料: 教室での受講は10000円+税 予約必須、動画での受講は5000円+税

+++++

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

Page Top

バックナンバー | お問い合わせ | ご感想 |

Copyright © I-O Wealth Advisors, Inc. All rights reserved.



### I-OWA マンスリー・セミナー講演より

### 2017 年世界市場展望

講演：馬淵 治好氏

レポーター：赤堀 薫里

2017 年は、目先一度調整がおきるでしょう。ただ、大きな流れでは明るい基調であり、今年は全般的に株や外貨が上がり気味になると思います。一番相場が高い時期は年末ではなく、年央(7~9月)。世界的に株は高くなるでしょう。そして年末に向かってくたびれると考えています。

11 月上旬の大統領選挙でトランプが当選してから日米の株価、米ドルが大幅に上昇しました。これは政策への期待が強すぎる上振れの範囲だと思っています。専門家は今起こっている相場を正当化します。「トランプは、外交や安全保障はわからないけれど、景気だけに絞れば刺激する方向だから株は上がっていい」という理屈をつけて専門家が説明を始め、みんなが納得して始まったのがトランプ相場だと思っています。期待がいきすぎている分、反落が少しずつ始まっています。特にドル円が顕著です。米ドル相場のピークアウトや、米株相場のピークアウト、日本株も一度落ちると思っています。それはいつなのか。



トランプ政権が始まると、スタッフもそれなりにつき、「心配したけどあのおじさんなかなかやるじゃないの」という期待も出るのですが、その前が危ないと思っています。一般教書や予算教書を出すと、まあまあ実務的にちゃんとやるのかなと安心感がでるのではないかと思います、その前に株価がややもたつく場面があるのではないのでしょうか。

ただ、その後は経済がどうなのかが大事です。アメリカ出張時の取材で、経済は非常に強いと感じました。一般的に、アメリカの経済が良くて、金利も上がり、株も上がり、ドルは上がると思えま



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

す。どちらの方向に向かっていくのかというトレンドも大事ですが、もう一つ大事なことは、現在値が高いすぎるのか、安すぎるのかというバリュエーションの重要度です。現在値を考えると、米株も米ドルも高すぎます。高さが解消されるためには、米株、米ドルが一度、調整する必要があり、そこからの大きな流れは大きく上がっていく方向でしょう。

日本株については長期で見るとリスクを取ろうという流れが出てくると思います。足元トランプ相場だと言われ、浮かれている部分と、長期的に改善されているという流れがあります。分けるのは難しいですが、短期的な浮かれの要素が73%で、長期的な改善という要素が27%ぐらいかなと思っています。長期的な改善でいえば、日本企業で最近上がっているものは、鉄鋼や非鉄、また世界の景気が良くなり貿易が改善されたため、総合商社や海運等が上がっています。

日本経済で注目していることは、輸出が意外に戻ってきているということです。それは、海外の経済が良くなり物が実際に売れ始めているということです。物が売れ始め、生産が増え始めると、設備投資が戻ってきます。実は日本のメーカーさんは、設備投資関連のお仕事得意。工作機械や機械部品、電子部品も好調なので、そういうところも動くかなと考えています。



中長期的な流れとしては、年央が高く年末が安くなるでしょう。理由としては、今年の終わりから来年に向けて、アメリカからのリスクが広がってくるからだと考えています。次にヨーロッパのリスクを考えてみます。英国のEU離脱は結論として、大人の対応になるでしょう。最終的に英国は体面だけ離脱しているような形になると思うので、これはあまりリスクではないと思います。欧州は議会選挙や大統領選挙が控えています。特にフランスの大統領選挙では、極右の党首ルペンが大統領決選投票にもし残った場合、マーケットは荒れる可能性があるでしょう。

その後、講演では、様々な指標を元に、米国経済は堅調な内需に外需の持ち直しがプラスされていくと予想、しかし現在の米株は割高であり、今後、米ドルの政治リスク、長期金利に注意が必要だと解説をいただきました。また、ゆっくりではあるが、世界を覆う投資環境に大きな変化がみられ、投資も安全志向からじわりと成長志向へ移行しつつあると言及されました。後半では、日米企業の比較とトランプ政権における経済政策の行方とマーケットに与える影響について解説いただきました。



### I-OWA マンスリー・セミナー座談会より どうなる、中国、アメリカ

座談会：馬淵 治好氏、参加者のみなさま  
レポーター：赤堀 薫里

参加者 | 中国経済の現状と今後について教えてください。

馬淵 | 中国の経済そのものは心配していません。ただ、中国の経済はプラス成長で拡大していますが、そのスピードの勢いは長い間、落ち続けるでしょう。かつての中国は、設備投資を行い、生産設備を増やし、低賃金を活用して製品を世界に輸出することで経済成長を遂げてきました。しかし現状、生活水準は向上し、賃金も上昇、少子高齢化も始まりつつあるため、働き手は減り、賃金を上げないと人が集まらない。そうなると、中国で生産するより、インドネシア・ベトナム・ミャンマー・バングラデシュに行った方がいいという流れになります。今までの経済成長モデルは行き詰っているので直さなくてはならない。

外科的に手術を行う解決策は、重厚長大型輸出企業(鉄鋼・セメント・機械・石油化学)の設備投資が余っているので全部、廃棄し、人も解雇する必要がある。中国で必要な産業である先端産業(IT関連・バイオ関連・旅客機・ロケット・MRIのような高度な医療機器)に力を入れるか、内需産業(小売り・サー



ビス・不動産・金融・医療・介護)に今までの資金も、解雇した人も振り向けるという方法もあります。しかしこれは短期間に終わる反面、短期的に失業者が急増するという痛みが伴います。すると不満が募り今の共産党政府が耐えられなくなるかもしれない。制度がもたないのでそのような選択肢はとれない。

大手術をすれば早いのですが、一方、景気が減速して、設備余剰から廃棄へ向かわなければなりません。景気が急に落ちないように幾ばくかの金融緩和や公共投資、輸出の奨励をしてゆっくり景気を減速させていくことになるでしょう。ゆっくり減速させていくということ



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

は、問題解決にも時間がかかります。5年位たっても中国の景気はゆっくり減速し続けると思っています。

正直、中国の経済統計は信用できません。そこで、オーストラリアから中国向けの輸出を見てみます。なぜかという中国はオーストラリアにとって第一位の輸出先であり、鉄鉱石、銅鉱石、石炭を買っています。つまり、中国の経済が良ければオーストラリアからいっぱいモノを買うので輸出額が伸びます。景気が悪くなると、モノを買わなくなるので輸出額が落ちます。この統計から見ると、中国の経済はそこそこだと思えます。実体経済からみれば減速していますが、それほど心配することはないでしょう。ただ金融面からみると少し怖い面があります。最近、元安になってきています。元安になる原因は、中国から資金が流出しているという思惑からです。実体はわかりませんが、資金逃避が起こっています。富裕層が中国の経済や政治の将来に不安を感じて、分散投資として資産をアメリカに移しているのではないかという思惑です。また、中国の企業が、積極的に海外に工場等を持って投資しているということ。中国元が下がると、ますますドル高元安にふれ、ドル資産を持った方がいいと思ひ、ますます元が下がるという悪循環がおこる可能性がある為、中国政府は元買い外貨売りの介入をしました。その結果、一時4兆円持っていた外貨準備が3兆円まで下がりました。このまま続くと、中国の外貨準備が減り、中国政府は外貨売りが出来なくなるかもしれないという思惑から投機筋が元を売るというスパイラルを招く恐れがあります。

今、中国は外貨準備をできるだけ使わないで元高にする方向で考えています。先日、香港の相場場で急に元高に振れました。これは、中国政府が中国の銀行に、「中国元を空売りしたい人に原資となる元を貸出す時は、年利100%位にしろ」と指導したので、一度ドル売りは止まりました。まだ予断は許しませんけどね。

参加者 | トランプさんになり、自国主義的な流れで自由経済がどうなるのだろうかと危惧されますが、貿易の面ではどうお考えですか？

馬淵 | PHPの総研の「グローバルリスク分析2017」の中でも触れましたが、グローバリズムに対するネガティブなイメージは、アメリカだけでないですね。ヨーロッパも閉鎖的になっています。そこは貿易の拡大にブレーキをかけると思います。ただ、ヨーロッパも、EUとイギリスの関係を見てわかりますが、相互に貿易をして栄えているため、貿易を遮るとお互いが傷を負います。EU離脱の場合は、大人の落としどころを探るでしょう。トランプもTPPを止めるのはいいにしても、NAFTAを止めるとか、中国に関税をかけると言っていますが、本当にするのかどうか。結果として輸入品が高くなります。全部アメリカで作ることではできませんから、最終的に企業や家計のコスト増に跳ね上がってしまうはず。政治的にも傷がつきます。それをどこまでトランプスタイルで突っ張るのか、どこでどう妥協するのか見えにくいのです。希望的観測も入っていますが、今のまま貿易をしないと



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

いうスタイルで行くとは思えないので、アメリカもどこかで妥協するでしょう。世界の貿易が拡大するということが、ひっくり返るまではいかないと思います。

ただ、マーケットの中でひっくり返るのではないか？という懸念が一時生じるとか、少しブレキがかかるといふことがあるので、そこは注目しなくてはいけないところです。

岡本 | トランプさんが出て来たことを一過性の出来事と見るのか、もっと非常に大きなトレンドの変化と見るのか。90年代に入って、民間の経済の世界が、資本主義化したわけですよ。ソ連が消滅して中国が大きく変貌して、新興国が大きなメリットを受けたし、多国籍企業が非常に大きくなった。決定的になったのが、情報革命。携帯という一対一で通話する機械が、人類の英知にアクセスできるツールになったし、自分が発信してみんなをグループ化することもできた。

そういう中で従来の政治の在り方そのものに対する大きな疑問を突き付けたのではないかという気がします。トランプさんがどうするのかという以上に、今までの政治の在り方というものが、もっと資本主義的な政治になっていくのではいかという感じがします。例えば、トランプさんの例を取れば、アメリカ株式会社のCEOですよ。そういう観点から見ると、彼の言っている事が非常によく理解できます。アメリカのオーナーはアメリカ国民です。株主である国民に喜んでもらえることをする責任をCEOはもっている。配当に当たるのが国民の満足感。企業で赤字は許されないけれど、貿易赤字はなぜか許されている。軍事的に他国を助けることは、国民に対して十分に責任を果たしていると言えるのか。これは極端ですけど、少しずつそういう発想が政治の中に入り込む時代が来たのかなと思います。

馬淵 | そういう例えで申し上げると大変ネガティブですが、CEOがそういう認識を持っているトランプに、アメリカ国民は株主として、株主総会で投票して「あなたは社長になっていいです」という判断を下した。株主の考えがおかしいと会社はおかしくなってしまう。先ほどトランプを今回支持した中間層の人達がおかしいと申し上げました。「何か棚からぼた餅でも落ちてこないかな？」という気持ちでCEOを選んでしまったと思っている人達が、「後からこの人をCEOに選んで間違いだった」ということになる、トランプの経営が大きく曲がってくるかもしれません。ただ大枠で企業的な政治体制の流れになってきているかもしれません。

岡本 | トランプさん自身が抱える大きなリスクはそういうところにあると思います。彼を圧倒的に支持した人達(株主)を本当に満足させられるような政治(経営)ができるのかどうか疑問に思います。期待感が大きいために、失望感も大きくなるのではないのか。政治的な不安定さは非常に高まってきているでしょうけど、色々な人の声が集まって出てきてしまっている、それによって左右されてしまうのではないのでしょうか。





## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

馬淵 | 情報からもありますが、政治の枠組みが非常に大きく変わろうとしているのかもしれませんが。変革期は出発点から着地点までストレートにいきません。右往左往して着地点へと向かうため変革期である今だからこそ不安定なのかもしれません。

岡本 | 今日もありがとうございました。



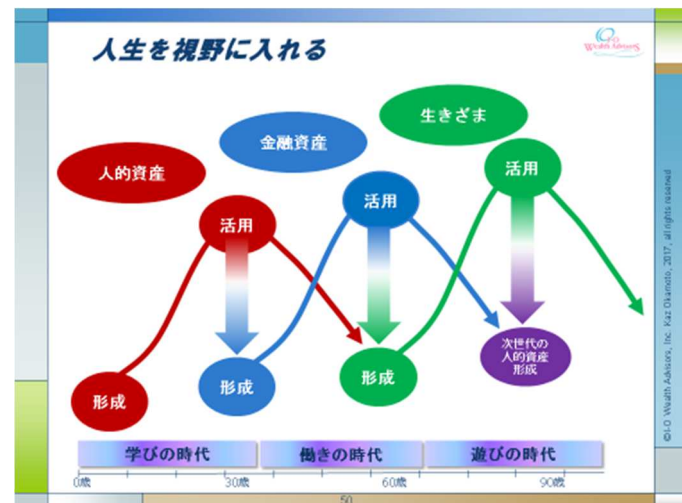
### 岡本和久講演より さあ、どうする！50歳

講演：岡本 和久 CFA

<こんなわたしですが・・・どうしたらいいでしょう>

人生において50歳という歳は大きな転機となる時期ではないかと感じています。たとえば、50歳は100歳までの人生の真ん中にあります。30代中ごろから60代中ごろまでの「働き」の真ん中でもあります。そして、20代前半から60代中ごろまでの就業時代の三分の二のところにあり、プロとして活躍していた時代から徐々にマネージャー的な役割が増えてくる時期でもあります。今日は、50歳前後に的を絞ってどのような課題があるのかを少しお話したいと思います。

いまや、人生は100年の時代です。その100年はほぼ三分の一ずつのステージに分割できます。それは、学びの時代、働き、遊びの時代です。学びの時代には人的資産を形成します。働きになるとその人的資産を活用して、金融資産を形成します。退職して遊びの時代に入るとその金融資産を活用して、次の世代の人的資産形成に役立っています。遊びの時代といっても家でゴロゴロしているのでもなければ、銀座で豪遊するのでもない。「あのじいさん、カッコいい」、「あんなおばあちゃんに私もなりたい」、そんな「生きざま」を次の世代の若者たちに見せてあげるのです。こうして世代はつながっていくのです。



そのような人生のなかで50歳という年齢は、地平線の向こうに広々とした海原が見えるというよりは、向こう岸が見えるようになってきている時代です。あまり、退職後の現実感はないかも知れませんが、漠然と不安を感じる時期でもあります。

退職後の不安という話をすると「お金はいくら必要か」ということを心配するかたが多いですね。



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

3000万円ぐらいは必要だ、いや、5000万は欲しい、1億円はないと心配だ。いろいろな意見があります。でも煎じ詰めれば退職後の最大のリスクは、生活の質が大幅に引き下げられてしまうということなのです。必ずしもお金の金額ではありません。クオリティ・オブ・ライフ(TQL)、生活の「質」なのです。

まさに、お金のクオンティティ、量が問題なのではありません。生活の質こそが重要であり、その質を確保するためにお金が必要なのです。50歳という年齢が重要なのは、そのころから計画をたて行動をとっていけばQOLをあまり下げずにしあわせな「遊びの時代」を過ごすことが可能になるのです。しかし、多くのかたが毎日の忙しい生活に埋没してしまい、退職後のための準備を忘れがちなのです。これがまさに多くの50歳の人を抱える問題でしょう。

50歳になりました。  
給料もそれなりに増えましたが、生活費もかかります。  
社内での先も見えています。  
将来のための蓄えはあまりありません。  
こんな私ですが・・・、どうしたらいいでしょう。アドバイスをお願いします。

こんな質問がよくあります。さて、みなさんの答えは？

私の答えはこのようなものです。

まず、一番言いたいのは「現実と向き合え」ということです。人生に手品はありません。資金運用にも手品はありません。人生の目的はお金持ちになることではありません。「しあわせ持ち」になることこそ目的なのです。お金の蓄えがあまりないのであればお金をあまり必要としない幸福感を求めよう。一攫千金を狙って大ばくちを打っても結局、もっとひどい状態になることは目に見えています。とにかくできる範囲でお金だけでなく、しあわせ持ちの人生に向けて先行投資をしておけば良いのです。

### <定年とリタイアメント>

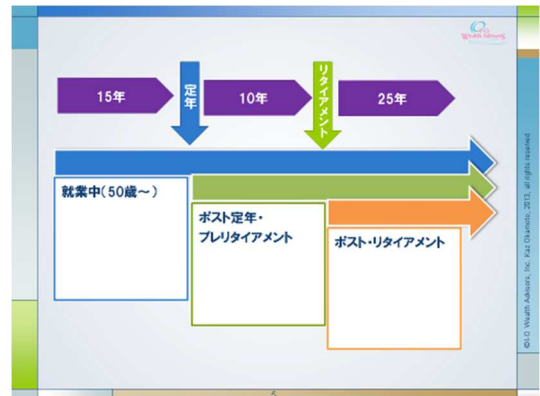
ありがたいことに50歳というのはまだ人生の折り返し地点です。私はいつも申し上げていますが、定年とリタイアメントは違います。最近雇用体系もずいぶん、変わってきましたが、日本はかつて終身雇用が一般的でした。終身といっても死ぬまで働くわけではないので、働くことをやめる時期を決めておく必要があります。年を定める、それが定年です。つまり、定年というのは終身雇用という制度上の区切りです。確かに終身雇用制度は大きく変化してきていますが、それでも定年に近い人ほど昔ながらの定年のイメージを強く持っています。それで定年後は働かないという前



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

提で人生を考えてしまう傾向があるのです。

一方、海外では終身雇用は一般的ではありません。基本的には将来の自分はいまの自分が支えるわけで、その準備ができたところで働くのをやめる。50歳で経済的に自立できる人もいれば、70歳で自立する人もいる。これがリタイアメントです。若いころから投資を続け、経済的な自立も含め退職後の準備ができたとき働くのをやめる。だから「ハッピー・リタイアメント」というのです。



50歳はある意味、退職後の準備を始めるラスト・チャンスです。まず、就業中の時期がまだ15年も残っている。この時期に色々な準備ができるのです。そして、定年を迎えても、まだ元気で働ける期間がかなり残っています。その間にさらにポスト・リタイアメントの生活の準備ができる。私は定年＝働くのを止めるという発想をやめるべきだと思います。働くのをやめるのはリタイアメントです。ですから、ポスト定年、プレ・リタイアメントというかなり長い期間があり、その間も就業することが可能だということになります。この期間をうまく使うことがポスト・リタイアメントをハッピー・ライフにするために必要であり、ポスト定年ープレ・リタイアメントの準備を始めるラスト・タイミングが50歳前後ということになります。

昔からこんなことをいいます。

五十、六十、花ならつぼみ  
七十、八十、働き盛り  
九十になって迎えがきたら  
百まで待てと追い返す

定年後に10年働いたとして、50歳からリタイアメントまでは25年、その後が25年あるのです。この歌のような気迫をもってシニア・ライフを迎えたいものです。

<プライオリティが変わる>

仕事とは文字通り、「仕える事」です。仕えるというのは、自分より上位のものに奉仕をするという意味です。自分より一番上位にあるのが世の中です。ですから、世の中に奉仕をするのが仕事です。そして、みんながお互いに奉仕をし合うのが「仕合せ(しあわせ)」ということなのです。

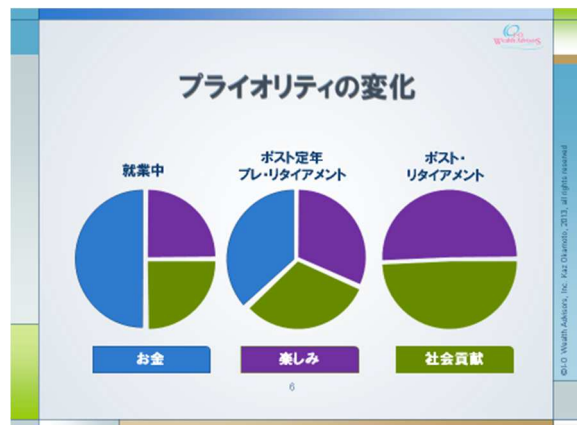


## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

私は六つの富(ふ)というお話をします。しあわせ持ちになるために必要な六つの要素です。それらはファイナンシャル・アセット(金融資産)、フィットネス(健康)、ファミリー(家族)、フレンド(友人)、ファン(趣味)、フィランソロピー(社会貢献)です。これらの六つの要素ができるだけバランスがとれており、しかも、外側に広がっているのがよいのです。

仕事というのはこの六つの富のなかでファイナンシャル・アセット、ファン、フィランソロピーに関係しています。つまり、仕事を通じて世の中のためになることをして、それにより自分が世の中のために役立っているという喜びと生活のためのお金を得ているのです。お金は自分の社会への貢献に対する世の中からの感謝のしるしです。これら三つの構成比は時期と共に変わっていきます。つまり、人生におけるプライオリティが変わっていくのです。

就業中はやはり仕事の動機として大きいのはお金です。そして、同時にプロとして世の中のためになる社会貢献を行い、そのことで自分の喜びを感じるということになります。ポスト定年、プレ・リタイアメントの時期にはこの比率が変化します。あくまでイメージですが、この時期になるとお金、社会貢献、楽しみがほぼ三分の一ずつになります。そしてポスト・リタイアメントのプライオリティは楽しみと社会貢献です。お金のために働くという動機は後退します。そうしてポスト・リタイアメントには、自分が一番楽しいことをしているとそれが世の中のためになるという遊びの時代に入ります。もちろん、定年のときの経済基盤が弱い人はポスト定年でもお金の比重が大きくなることもあるでしょう。このプライオリティの比重はそれぞれの置かれた環境によって異なります。



### <心地よい向かい風>

退職後の経済的メドがたち、働くことをやめるのをリタイアといいます。そして、そのような人をリタイアード・パーソンといいます。リタイアードは英語の「Retired」です。これは「Re」と「tired」に分けられます。「Re」には「再び」という意味があります。「Tired」は「疲れる」です。つまり、リタイアードは「再び疲れる」です。疲れすぎるのはむろん気を付けるべきですが、リタイア生活はただのんびりと、ゴロゴロしているのではなく、体や心を無理のない範囲で使う時期、心地よい向かい風に立ち向かう時期なのだと思います。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

追い風は背中を押してくれるので前に進むのが楽です。しかし、すでに歩んできた道に落ちていたゴミやほこりを背中に負わせ続けることになります。向かい風に立ち向かうと少し抵抗があります。しかし、背中に背負っている過去の遺産を後ろに吹き飛ばしてくれます。あまり、強い逆風だと吹き飛ばされます。しかし、心地よい向かい風はとても大切だと思っています。

逆風は過去のホコリを吹き払ってくれる



©2010 Jaz Clemente, iO Wealth Advisors, Inc.

過去の遺産が吹き飛ばされて現れてくるのが「存在力」です。アンチエイジングということをよく言いますが、私はあまり好きな言葉ではありません。人生は生まれてから死ぬまでが進化のプロセスです。アンチエイジングは進化に逆行する行動です。むしろ、歳を重ねることで見えてくること、わかってくるものがたくさんあります。ただし、人間としての価値は変化していきます。若いうちほどその価値が行動力にあります。しかし、歳をとるほど出てくるのが存在力です。あまり多くを語らないのだけれど、その人の言葉に深い含蓄がある。多くの行動はしないけれどわずかな行動が多くの人に感動を与え社会に影響を与える。そのような力ではないでしょうか。プロエイジングは無理がありません。そして、心地よい向かい風こそがプロエイジングをアクティブに生きるということです。

<50 歳、何をなすべきか>

50 歳になって何をすべきか。私はこれらの四つではないかと考えます。

**将来の収入源を見つける**  
**時間と交友関係への投資**  
**病気になる健康投資**  
**資金を増やす**

まず、将来の収入源について考えてみましょう。ポスト定年の収入源には大きく分けてこれらの三つがあるでしょう。

- ① 継続雇用
- ② 転職
- ③ 起業

どれにしても一番大切なのは覚悟です。継続雇用であれば煙たがられる。転職であれば居心地



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

が悪い。起業は自分の判断でチャレンジできるので楽しいのは事実ですが、これも楽ではない。どれもなかなか大変です。定年の時点で十分に資産があれば別ですが、そうでないとポスト定年、プレ・リタイアメントの時期に収入を持つことは必要です。上記の①、②を選択するのであれば、煙たがられる、居心地が悪いなどを乗り越える覚悟が必要だということです。

なかでも、起業は言うほど簡単ではありません。私も58歳の時にいまの会社を起業をしましたが、振り返ってみて次の四つの条件が絶対に必要だと感じています。

- 商売になるだけの得意の分野を持っていること
- 見込み客や人脈を持っていること
- 早期に収益化できる見通しがあること
- 固定費を極力低くすること

起業に長年の夢をかけるのもいいのですが、実現しなければ意味がないのです。夢だけでは仕方ない。夢という美しい言葉(誘惑)に注意が必要です。上記のような条件を満たさないでうかうかと起業をしてしまうと、それは、単なる金ばかりかかる道楽になってしまいます。

### <時間の分散投資が必要>

先ほど、お話しした六つの富のうち、ファミリー、フレンド、ファン、フィランソロピーを充実するためには時間という資産の分散投資が必要です。ポスト定年、プレ・リタイアメントの時代には仕事の金銭的な目的は減少していきます。起業で成功するためには人脈、交友関係の広さが必要であることを述べました。友達のほとんどがこれまで勤めてきた会社の同僚というのではなく、幅広い人付き合いが必要です。そのためには趣味(ファン)を通じての友達や、社会貢献活動や地域コミュニティなどの知り合いを広めておくことが重要です。もちろん、家族の中に自分の居場所があることが重要なのは言うまでもありません。これを充実するために必要なのが時間と交友関係という資産の分散投資です。

一般に人的資産への投資という場合、自己啓発など、自分自身の能力をアップするための投資を意味することが多いのです。しかし、歳を重ねるほど重要なのは自分以外の人を持つ人的資産への投資です。良い友達を作ること大切ですし、また、若い人をいろいろな面で援助して年齢とともに自分でできなくなることを補ってもらうこともいいでしょう。歳とるほどに良い友人をたくさん持っていることがいかに大切かわかります。自分自身の人的資産はかなり減退していても、他者の人的資産は無尽蔵です。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

ここに総務省統計局が集計した「平成 23 年社会生活基本調査」から筆者が作成した 45～54 歳の男女別時間の使い方の集計結果があります。詳細を見ていただくと非常に面白いことがたくさんわかるのですが、何となく、仕事に行って、帰宅すると食事をしながらテレビを見て、あとは寝ているというようなイメージが浮かび上がってきます。女性の場合は家事にかなり時間を使っていますが、男性が家事に使う時間は非常に少ないのが目立ちます。また、男女ともに趣味やボランティア活動に使う時間が非常に少ないことも見てとれます。その意味では、もちろん一般論ですが 50 歳前後の人々は将来に対する時間と交友関係に十分分散投資をしているとはいえないのではないかと思います。

同じく総務省統計局の「平成 23 年社会生活調査」には 45～54 歳の男女が誰と一緒にいたかという調査が出ています。こちらをみても特に男性は職場の人と一緒にいるか、一人であるというのが非常に大きい比重を占めていることがわかります。

### <お金がなくてももしあわせになれる>

私の好きな句集に橘曙覧(たちばなのあけみ)という人の「独楽吟」があります。この人は文化 9 年(1812 年)に生まれ、慶応 4 年(1868 年)まで生きた人ですが、「たのしみは」で始まる一連の歌を集めたのがこの「独楽吟」です。これを読むと本当にどんなところにもたのしみはあるのがわかります。我々の心が強い刺激に慣れすぎてしまっていて、強いインパクトのあるものでないと感動を覚えなくなってしまうのではないのでしょうか。静寂な心を保つことができれば世の中には楽しみがいくらでもあることが感じられます。一部を紹介します。

### 45～54歳の男女別時間の使い方

(1日あたり、分)

|             | 男性     | 女性     |
|-------------|--------|--------|
|             | 45～54歳 | 45～54歳 |
| 主な仕事関連      | 434    | 225    |
| 副業関連        | 1      | 1      |
| 通勤          | 54     | 24     |
| その他の仕事関連    | 8      | 3      |
| 家事          | 30     | 219    |
| 育児          | 6      | 10     |
| 買い物・サービスの利用 | 15     | 38     |
| 家事関連に伴う移動   | 9      | 18     |
| ボランティア活動関連  | 6      | 6      |
| 学業          | -      | 1      |
| 学習・自己啓発     | 1      | 5      |
| 睡眠関連        | 448    | 429    |
| 身体的ケア       | 60     | 79     |
| 食事          | 106    | 114    |
| 社会参加・宗教活動   | 1      | 1      |
| 交際          | 17     | 27     |
| 教養・趣味・娯楽    | 35     | 34     |
| スポーツ        | 12     | 10     |
| マスメディア利用    | 159    | 153    |
| 休養・くつろぎ     | 7      | 12     |

総務省統計局「平成23年度社会生活基本調査」より著者作成

### 45～54歳の男女 誰と一緒にいたか

(1日あたり、分)

|           | 45～54歳 | 55～64歳 |
|-----------|--------|--------|
| 男 - 総平均時間 |        |        |
| 一人        | 357    | 356    |
| 父         | 21     | 8      |
| 母         | 39     | 31     |
| 子         | 88     | 64     |
| 配偶者       | 146    | 245    |
| その他の家族    | 21     | 35     |
| 学校・職場・その他 | 425    | 329    |
| 女 - 総平均時間 |        |        |
| 一人        | 415    | 448    |
| 父         | 14     | 7      |
| 母         | 57     | 32     |
| 子         | 162    | 89     |
| 配偶者       | 155    | 257    |
| その他の家族    | 37     | 65     |
| 学校・職場・その他 | 267    | 193    |

総務省統計局平成23年社会生活調査より著者作成





## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

たのしみは妻子(めこ)むつまじくうちつどへ 頭(かしら)ならべて物をくふ時  
たのしみは空暖かにうち晴れし 春秋(はるあき)の日に出(い)でありく時  
たのしみはまれに魚烹(うをに)て児等(こら)皆がうまいうましといひて食う時  
たのしみは心をおかぬ友とちと 笑ひかたりて腹をよるとき  
たのしみは三人(みたり)の児(こ)どもすくすくと大きくなれる姿みるとき  
たのしみは小豆(あずき)の飯(いひ)の冷えたるを茶漬けてふ物になしてくふ時  
たのしみはほしかりし物銭(ぜに)ぶくろうちかたぶけて買ひえたるとき

1994年、天皇、皇后両陛下がアメリカを訪問した時、ビル・クリントン大統領が歓迎のスピーチの中で、この歌集のなかの一首、「たのしみは朝おきいでて昨日まで無かりし花の咲ける見る時」を引用したことでこの歌集が有名になりました。

### <病気になる健康投資>

時間という資産への投資とともに重要なのが健康投資です。病気になって医者に診てもらえば治療の費用がかかります。これは資産の流出です。しかも、その間、仕事も満足にできないかも知れません。まず、病気になるような生き方が必要なのです。私も歳相応にいろいろな病気をしたのであまり偉そうなことは言えないのですが、逆に健康投資の大切さはいくら強調しても、し足りることがありません。大原則は以下の通りです。まったく、その通りでしょう。

早寝早起き 腹八分目、酒はほろよい、色を慎め

大切なことは未病を防ぐということ。未病というのは病気が発生する前の状態、つまり、病気のタネのようなものです。未病を防ぐには体と心の両面での毎日のケアが必要です。まず、体については定期的な軽い運動でしょう。例えばラジオ体操、ストレッチ、真向法、太極拳、ウォーキングなどです。何らかの異常が発生した後になりますが、定期的に人間ドックなどの検診を受けるのも大切です。

体の健康とともに忘れてはいけないのが心の健康です。これには瞑想、祈り、茶道、写経、写仏などがあげられます。体の疲れはすぐに気づくので早く寝たり休んだりして回復しようとするのが普通ですが、実は心も疲れています。一日のうちわずかでも心を静める時間を持つことはとても重要だと思います。我々の周りのストレスはどんどん高まっています。心もへとへとになっているのです。静寂な時間を持って心の健康を保つということは現代人がもっとも忘れ去っていることかも知れません。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

### <お金との付き合いかた>

お金の問題でまず、最初に取り組むべきことは現在の生活費の無駄をあぶり出し、その資金を退職後の資金作りに回すことです。生活費のなかでも固定費として検討してみる必要があるのがさまざまな保険の支払いと、それから項目として普通、一番大きい住宅関連の費用だと思います。これらについては、私は必ずしも専門ではないのでファイナンシャル・プランナーなどの意見を参考にしてください。

それから固定費ではなくつい、行ってしまう無駄使いに気を付ける必要があります。私は買い物 5 原則として以下を挙げています。

- 「安いから」という値段で買わない
- 自分にとって価値あるものを買う
- 見栄、無用な付き合いとの決別
- 世の中のためになっている良い会社の製品を買う
- リボ払いなども含め借金をしない

むだな生活費を削減したら次に資産運用によって「資産を増やす」ことが必要です。私は次の六つの心得が重要だと考えています。

- 財産(資産・負債)の棚卸をする
- 退職後の生活をイメージした実現可能性のある目標を立てる
- 収入 - 投資 = 支出
- 「ゆっくり、少しずつ増やす」ことに徹する
- 相場に惑わされない
- 絶対やめない

特に大切なのが財産の棚卸です。金融機関ごとの資産残高を国内株式、国内債券、円預金、外国株式、外国債券、外貨預金などの資産ごとに分類するのです。この作業をすると現在の自分のポートフォリオがどんな状態なのかがよく見えてきます。チェック・ポイントは二つあります。

- ① 全体の資産配分が自分の目指す基本ポートフォリオとどのぐらいかい離しているかを確認する
- ② 次にそれぞれの資産クラスの中が十分に分散されているかどうかを確認する

この結果に基づいてポートフォリオのリストラを検討するわけです。それでは資産運用のポイントはどんなものでしょう。ここでは要点のみをお話しますが、もう少し詳しくお知りになりたい方は私



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

の著書、「波乱相場を黄金のシナリオに変える資産運用法～かんたんすぎてすみません」(きんざい)などをお読みください。

投資はできるだけ早く、できるだけたくさん儲けようとするから難しいのです。投資リターンの源泉は投資先企業が社会に生み出す付加価値であり、株主に支払われる配当金と企業内に蓄積されていく株主資本です。企業の価値は一朝一夕に増加するものではありません。ですから、少しずつ、時間をかけて資産を形成することが必要です。50歳といってもまだ定年まで15年、リタイアメントまで25年ぐらいはあるでしょう。寿命が100年だとすれば、100歳のときに必要な資金は運用し続けることが可能なのです。その意味では50歳だからもう、長期投資は無理だと思うのは大きな間違いです。ただし、注意も必要です。特に定年後、収入が減り、リタイアメント後、収入がなくなるわけですから、一時的であっても大きくマーケットが下がってしまうとダメージが大きいのです。あまり投資経験のない方であれば、まずは、50歳から十分に分散された投資信託を積立投資していくことが良いのではないかと思います。以下、ポイントのみご紹介します。

- 資産運用の目標は「購買力の維持+アルファ」
- 長期的な期待リターンは債券が物価の上昇率並み、株式は物価の上昇率に実質経済成長率
- 株式はグローバルな株式インデックス・ファンド(日本株インデックス・ファンドと日本以外の海外株式インデックス・ファンドを1対9程度の割合で保有する)、債券は国内公社債投信
- 株式と債券の配分比率はデフォルトとして50代は半分ずつ、定年後は徐々に株式比率を下げ70代には2割程度にまで低下する(基本ポートフォリオ)
- 定時定額(ドルコスト平均法)の自動引き落としで積み立て投資をする
- 年に3~4回、資産の棚卸をして状況を確認する。相場の変動で基本ポートフォリオから大きくかい離れた状態が長く続くようであれば積立額を調整して基本ポートフォリオに近づける
- 絶対にやめない

### <60歳になったら>

60歳になったらここに書かれているようなことをきちんとしておくことをお勧めします。

- 個人情報整理と記帳
- 遺言、エンディング・ノートなどの作成
- 金遣いの王道を歩む
- 資産運用を続ける

このなかで特に価値があるのは金遣いの王道です。私は「つかう」、「ためる」、「ゆずる」、「ふやす」というハッピー・マネー四分法を提唱しています。それぞれ、消費、貯蓄、寄付、投資です。このなかで、自分のできる範囲でお金を「ゆずる」、つまり、困っている人、苦しんでいる人のために使っ



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

てあげることも大切だと思います。私はこれを「超マネー投資」の「利他のリターン」と呼んでいます。人助けのリターンは金銭ではなく、喜びであり、幸福感です。つまり、寄付はしあわせ持ちになるためのとても良いお金の使い方です。お金がなければボランティア活動などで時間と労力を提供するのでもいいでしょう。毎日の生活で「一日一善」を心がけるのもよいと思います。すでに述べたように人生の目的はしあわせ持ちになることです。「さあ、どうする！50歳」というお話をしてきましたが、「いくら必要なのですか」ということに焦点を当てるのではなく、どうしたら生活の質を維持できるか、どうしたらしあわせ持ちへの道を歩んでいけるのか、その点を見定めることが大切だと思います。以上、駆け足で50歳前後で心すべきことをお話しましたがみなさんが「しあわせ持ち」になっていただくための参考になったら幸いです。



### 中国がわかるシリーズ 38

#### モンゴルの勃興

ライフネット生命保険株式会社  
代表取締役会長兼 CEO、出口 治明氏

13世紀初頭、ユーラシアの大草原では、東西から2つの太陽が昇りつつありました。1194年にセルジューク朝を滅ぼしたホラズム・シャー朝は、7代、ムハンマドが、1212年、西カラ・ハーン朝を、1215年には、ゴール朝を滅ぼし、中央アジア、イラン、アフガニスタンの地に大帝国を現出させたのです。

東のモンゴル高原では、モンゴル部キヤト氏族にテムジンというリーダーが現れ、タタール部、メルキト部、ケレイト部、ナイマン部などを次々と下して、1206年に即位、チンギス・カン(~1227)と名乗って、大モンゴル国を樹立しました。モンゴル高原が統一されたのは、ウイグル以来、実に350年ぶりのことでした。モンゴルの国制は、東方(左翼)興安嶺方面に、チンギス・カンの実弟であるカサル、カチウン、オッチギンの3名を配し(東方3王家)、西方(右翼)アルタイ山方面には、ジョチ、チャガタイ、ウゲデイ(オゴデイ)の3子を配して、それぞれに千人単位の遊牧領民集団(ウルス)を分封するものでした。なお、末子、トルイは、チンギス・カン直属の大軍団とともに、中央に置かれました。これは、遊牧民特有の末子相続制の名残です。

モンゴルの勃興を目の当たりにした中央アジア東方の諸民族は一斉にモンゴルになびきました(ウイグルは、1209年、チンギス・カンに与し、新国家の中枢の一翼を担うこととなります)。足元を固めたチンギス・カンは、1211年、大金国への侵攻を開始しました。1214年、大金国は圧力に耐え切れず、南遷して開封に移り、1215年、モンゴル軍は、首都、中都(北京)を占領しました。この戦争で、大金国の傘下にあったキタイ族はモンゴルが吸収しました。

嘗て、大帝国を築いたウイグルやキタイを取り込んだことは、国家運営の面で(モンゴルにとって)大きな収穫となりました。特に多言語に通じたウイグル人は、商業面のみならず、文化面でも多大の貢献を行うこととなります。チンギス・カンは、4駿・4狗と呼ばれた8人の僚友やイスラ



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

ム商人アサンに助けられ、散在する鉄山を効率的に管理運営して、強大な軍事力を涵養しました。テムジンという本名は鍛冶屋に由来すると云われていますが、チンギス・カンと鉄は切り離すことが出来ません。

ここで、カンとカアンについて整理をしておきたいと思います。北方の遊牧民の王や族長は、カン（ハン、汗）と呼ばれていました。そして多民族を統合して北方の草原地帯に君臨する皇帝のことを、カアン（可汗、後にハーンと発音）と呼んだのです。テムジンは、実態から見れば、明らかにカアンでしたが、当時は、カンと呼ばれていました。モンゴル帝国で、カアンと呼ばれるのは、2代、ウゲデイ及び4代モンケ以降のことです。



## 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

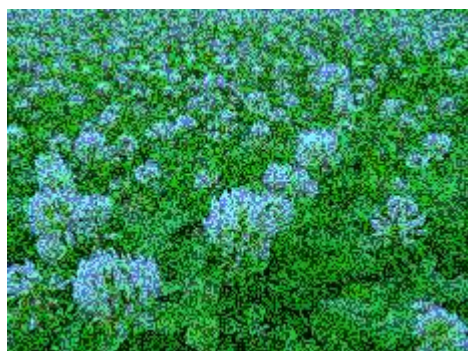
1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。FACEBOOK 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



### シロツメクサ(漢字表記は?)

あらいぐまラスカルの歌に出てくる「シロツメクサ」、漢字ではどう書くのだろうか。「白爪草」と書きそうだが、正しいのは「白詰草」。「ツメ」といえば多くの方は「爪」を連想するのかもしれないが、由来が分かれば間違うことはない。

「白詰草」の名前は、江戸時代、日本がオランダと貿易を行い、ガラス製品などを輸入していたことに由来する。ガラス製品は壊れやすいので、納める箱の中に「緩衝材」として草を詰めていた。その草が「シロツメクサ」だった。「詰めもの」として使われたから「詰草」と表記するようになったのである。





### ダモクレスの剣(The Sword of Damocles)

古代ギリシャの話である。ダモクレスがシチリアの僭主(非合法に王になった者)ディオニシオスの権力と栄光を羨み、追従の言葉を述べた。すると後日、ダモクレスは僭主から豪華な宴の招待を受けた。宴は贅を極めたものであったが、ふと頭上を見上げると、天井から今にも切れそうな細い糸(馬の尾の毛)で、剣が吊るされていた。僭主ディオニシオスは、ダモクレスの羨んでいる僭主という立場が、いかに命の危険をとまなうものであるかを示したのである。この故事から、「ダモクレスの剣」は、常に戦々恐々としている状況をもたらすものの譬えに用いられるようになった。

このエピソードが日本でよく知られるようになったのは、次のケネディ大統領の1961年の国連演説である。『地球のすべての住人は、いずれこの星が居住に適さなくなってしまう可能性に思いをはせるべきだろう。老若男女あらゆる人が、核という「ダモクレスの剣」の下で暮らしている。世にもか細い糸でつるされたその剣は、事故か誤算か狂気により、いつ切れても不思議はないのだ。』



### 血税

血を搾られるような苦勞をして納める負担の重い税金を「血税」というが、もともとは兵役義務という言葉である。1872年(明治5年)太政官告諭に「西人之を称して血税という。その生血を以つ





## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

て国に報ずるの謂なり」とあり、フランス語の「impôt du sang」の直訳である（impôt=税、sang=血）。  
（太政官告諭にある「西人」は欧州人の意）

現在では徴兵制度がないため、本来の意味は忘れ去られているが「納税の義務」は多くの国民にとって「血税」の印象が強いかもしれない。

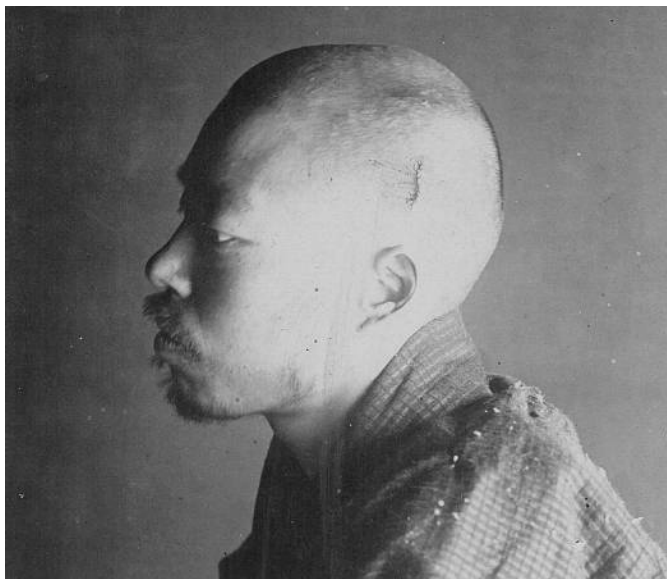
### 月並み

「月並み」は、元々「毎月決まって行うこと」を示す言葉で、そこから和歌や俳句などの毎月の例会を「月並みの会」と言うようになった。

この「月並み」が平凡でつまらないことを意味するようになったのは、俳句を革新した正岡子規が旧態依然としたそれまでの俳句を「月並み俳諧」と批判したことからだ。

俳句の毎月の例会（月並み）は、俗受けをねらったものや言回しの工夫が多く、感動の少ない平凡な作品ばかりとする正岡子規の指摘が現在の意味につながり、ごく平凡なことを意味するようになったのである。

さらに、子規は松尾芭蕉の詩情を高く評価する一方、江戸期の文献を調べ与謝蕪村のように忘れられていた俳人を発掘している。明治 35 年没（満 34 歳）。



### 飛行機の出入り口はなぜ左側か

飛行機には機長を「キャプテン」、客室を「キャビン」、乗員を「クルー」というように、船にちなんだ用語が多い（航空会社の人々は飛行機のことを「シップ」と呼んでいる）。これは 100 年ほど前に飛行機が実用化されるに伴い、船の用語を倣ったためだ。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

船の右舷には舵板があるため、岸につけるのに邪魔になってしまう。そのため、船は左舷から接岸して、人の乗り降りや荷物の積み卸しをするのが慣習となった。こうした船の慣習が飛行機に引き継がれ、人の乗り降りは原則として左側のドアを使うようになったのである。

ただ、空港設備や状況に合わせて右側のドアを使用することもまれにある。また、機内の掃除、食事や機内販売品を搭載するときには右側のドア(サービス・ドアという)を使う。



### I-OWA マンスリー・セミナー講演より 江戸に学ぶシリーズ(3) 江戸時代の経済思想

講演: 岡本 和久  
レポーター: 赤堀 薫里

江戸に学ぶシリーズ 3 回目、最終回の今回は、江戸時代の経済思想についてというお話です。井原西鶴先生は日本永代蔵で有名です。「永代蔵」という言葉は非常に大きな意味を持っています。永代とは時間的に制限がない、極めて長期、子々孫々、代々つながるという意味です。蔵というのは財産全体のポートフォリオ。つまり、「永代蔵」というのは、非常に長期のポートフォリオという意味で、それをどういう風に管理していくのかが、彼の大きなテーマであったのです。

彼は浪費することなく慎ましやかな生活を奨励しています。時は元禄時代の中、蓄財の重要性を何度も言っています。淀屋没落のレッスンがあったのでしょうか。分を外してはいけません。「分」というのは大変おもしろいコンセプトです。ピザを切り分けて「これはオレの分、そっちがお前の分」という分です。人間一人一人、この世の中で何か与えられたシェアみないたものがある。それは、その人が社会に貢献して、その貢献の見返りとして与えられているものです。それがその人の分。その分を最大限に得るためには、十分に社会に貢献しないといけません。これは身分制度が非常に固定的だった江戸時代に出て来た考え方かもしれません。しかし、成熟してきた今の日本の中でも、非常に重要な考え方になりつつあるでしょう。

分限というのは「自分が持っている社会におけるシェア」を限りまで得るという意味だろうと思います。西鶴先生は、分限になるためには、朝早くから夜遅くまで自分の家の職業を一生懸命働き、無駄遣いしないで始末して使えば、間違いなく分限への道に辿り着くといいました。分限とは親から譲り受けず、自分という人的資産を活用して、本人の才覚と知恵で働き出せるもの。今のお金で大体 5 億から 10 億円位の財産でしょう。

更に分限から長者へなるにはどうすればいいのか。長者になるためには資産を活用することで、今のお金で 10 億円以上稼ぎ出す人を長者だと言います。お金を貸して金利を得ることで、自分だけ一生懸命働いてなれる分限から、自分のお金を人にも使わせてあげることによって資産を活用する。他人の人的資産を使い投資をすることで、利息が利息を生み、お金がお金を稼ぐことで長者になることができるわけです。



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

武士の世界では貯蓄をして子孫に残すことが限界でした。今の日本もそういうところがあります。そうではなく、お金を活用して、つまりリスクをとって増やす。これが投資による資産形成です。江戸は宵越しの金はもたないという考え方でしたが、天下の台所である大阪では、いち早く複利の概念も広く理解されていました。

江戸時代の経営思想を考えてみます。まず倫理的に重要な要素が3つあります。一つ目は人々のお役に立つことをするという奉公意識。二つ目に、知足。分の限りを理解する分限意識とも言えるでしょう。そして最後が人の信用を得る体面意識。

経営手法として大切なのが、イノベーション(才覚)、ファイナンシャルマネジメント(算用)、プロジェクトマネジメント(始末)です。淀屋の失敗を踏まえて少しずつゆっくり着実に稼ぐ。基本にあるのが三方よしです。その上に永代蔵、永久に続くような大きなポートフォリオを形成していきます。そして、お金と物をつないでいるのは心であることの理解。これらが経営思想のエッセンスである気がします。



基本的な企業経営の考え方には、加えていく要素と調和する要素、つまり多様性を取り入れつつ



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

調和を達成するという考え方があります。それが「和」の概念です。豪商の世界では、血縁よりも家名やのれんの方が大事という考え方が浸透していきます。代々、商いを続けていくために視野が広く長くなります。足るを知る。欲張らない。自分の「分」以上のものを望まない。積小為大、小を積んで大と為す。もったいないという考え方やおかげさまという考え方。これらは資産運用にもとても役立つ考え方だと思います。

講演では、大阪の商人が作った教育機関である懐徳堂や、後にその懐徳堂の校長になり、仙台藩の財政危機を救った山片蟠桃について、庶民のために石門心学の普及に尽くした石田梅岩、道徳と経済を融合させた二宮尊徳の経済思想の解説がありました。

また最後に、和風の企業経営と和風の資産運用が、資本主義がグローバル時代における健全な姿に進化するための指針となるモデルとなり、和風の部分を、日本はもう少し自信を持って世界に対して発信してもいいのではないかと結ばれました。

# <モデルポートフォリオ:2017年2月末の運用状況>

単位：%

|      |     | トータルリターン |       |            |             | リスク         | 1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率 |            |              |                       |
|------|-----|----------|-------|------------|-------------|-------------|-------------------------|------------|--------------|-----------------------|
|      |     | 1か月      | 1年    | 5年<br>(年率) | 10年<br>(年率) | 10年<br>(年率) | 1年<br>12万円              | 5年<br>60万円 | 10年<br>120万円 | 2000年1月<br>~<br>206万円 |
| 4資産型 | 積極型 | 1.31     | 16.37 | 14.34      | 3.03        | 17.18       | 10.64                   | 33.78      | 61.37        | 77.05                 |
|      | 成長型 | 0.80     | 9.52  | 10.85      | 3.06        | 12.23       | 6.28                    | 23.27      | 44.31        | 61.55                 |
|      | 安定型 | 0.30     | 2.94  | 7.30       | 2.83        | 7.72        | 2.06                    | 13.43      | 28.30        | 45.20                 |
| 2資産型 | 積極型 | 1.73     | 16.60 | 14.11      | 3.96        | 19.34       | 10.96                   | 31.84      | 63.37        | 88.56                 |
|      | 成長型 | 1.00     | 9.29  | 11.04      | 3.61        | 14.37       | 6.55                    | 22.22      | 46.09        | 70.42                 |
|      | 安定型 | 0.26     | 2.34  | 7.92       | 3.00        | 10.00       | 2.30                    | 13.17      | 29.92        | 51.51                 |

\* 投資にかかるコストは控除していない。積み立ては、税引き前分配金再投資。ポートフォリオは毎月リバランスをしたものとする。積み立ては計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2016年2月末に1万円投資資金を積み立て始め、2017年1月末の投資資金までとする(2017年2月末積み立て分は運用期間がないため含めていない)。

出所: イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがMorningstar Directにより作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせは「投信まとなび」のお問い合わせメール( <https://www.matonavi.jp/inquiry> )にてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンまで。

## ポートフォリオの資産配分比率(外貨建て資産は円換算ベース)

| 4資産型 |  | 国内株式:<br>TOPIX               | 外国株式:<br>MSCI<br>KOKUSAI | 国内債券:<br>NOMURA-<br>BPI<br>(総合) | 外国債券:<br>Citi WGBI<br>(除く日本) |     |
|------|--|------------------------------|--------------------------|---------------------------------|------------------------------|-----|
|      |  | 積極型                          | 40%                      | 40%                             | 10%                          | 10% |
|      |  | 成長型                          | 25%                      | 25%                             | 25%                          | 25% |
|      |  | 安定型                          | 10%                      | 10%                             | 40%                          | 40% |
| 2資産型 |  | 世界株式:<br>MSCI ACWI<br>(含む日本) |                          | 世界債券:<br>Citi WGBI<br>(含む日本)    |                              |     |
|      |  | 積極型                          | 80%                      | 20%                             |                              |     |
|      |  | 成長型                          | 50%                      | 50%                             |                              |     |
|      |  | 安定型                          | 20%                      | 80%                             |                              |     |

ポートフォリオは「インベストラ이프」が参考のために考案した資産配分に基づき、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出しています。特定の資産配分による投資の推奨を行うものではありません。

「長期投資仲間」通信『インベストラ이프』のその他の記事はこちらからご覧ください。  
<http://www.investlife.jp/>

### 4資産

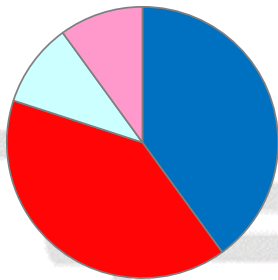
■ 国内株式:  
TOPIX

■ 外国株式:  
MSCI KOKUSAI

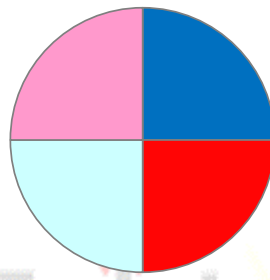
■ 国内債券:  
NOMURA-BPI  
(総合)

■ 外国債券:  
Citi WGBI  
(除く日本)

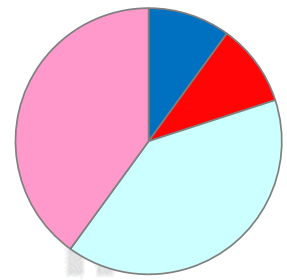
### 積極型



### 成長型



### 安定型

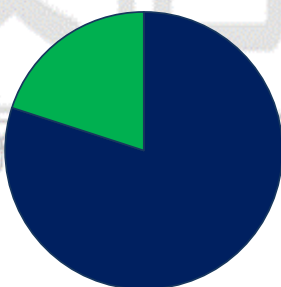


### 2資産型

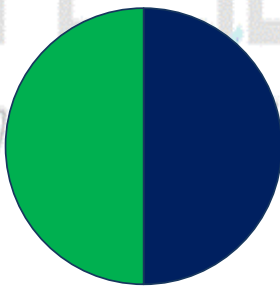
■ 世界株式:  
MSCI ACWI  
(含む日本)

■ 世界債券:  
Citi WGBI  
(含む日本)

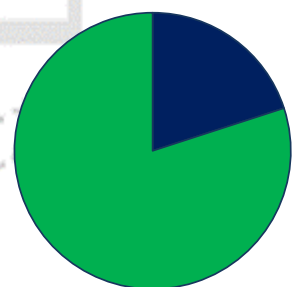
### 積極型



### 成長型



### 安定型



当資料は「インベストライフ」のために、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出、作成しています。特定の投資信託による投資の推奨を行うものではありません。  
※ファンド名をクリックすると「投信まとなび」でそのファンドを見ることができます。

「長期投資仲間」通信『インベストライフ』の  
その他の記事はこちらからご覧ください。  
<http://www.investlife.jp/>

## <直販ファンド:2017年2月末の運用状況>

| 運用会社名      | ファンド名                       | トータルリターン |       |            |             | リスク   | 1万円ずつ積み立てた場合の<br>投資額に対する騰落率 |            |            |              | 1万円ずつ積み立てた場合の<br>月末資産額 |            |            |              | 2017年2月末          |             | 2016年<br>11月末 | 2017年<br>2月中           |
|------------|-----------------------------|----------|-------|------------|-------------|-------|-----------------------------|------------|------------|--------------|------------------------|------------|------------|--------------|-------------------|-------------|---------------|------------------------|
|            |                             | 1ヵ月      | 1年    | 5年<br>(年率) | 10年<br>(年率) |       | 10年<br>(年率)                 | 1年<br>12万円 | 5年<br>60万円 | 10年<br>120万円 | 2000年1月~<br>206万円      | 1年<br>12万円 | 5年<br>60万円 | 10年<br>120万円 | 2000年1月~<br>206万円 | 純資産<br>(億円) | 基準価額<br>(円)   | (前回掲載時)<br>基準価額<br>(円) |
| さわかみ投信     | さわかみファンド                    | 1.09     | 22.30 | 13.81      | 1.55        | 20.56 | 13.18                       | 38.21      | 56.68      | 94.88        | 13.58                  | 82.93      | 188.01     | 354.68       | 2,948.6           | 22,396      | 21,241        | -14.02                 |
| セゾン投信      | セゾン・バンガード・<br>グローバルバランスファンド | 0.29     | 7.91  | 10.76      | -           | -     | 6.60                        | 21.21      | -          | -            | 12.79                  | 72.73      | -          | -            | 1,296.2           | 13,266      | 12,782        | 11.26                  |
| レオス・キャピタルワ | ひふみ投信                       | 3.44     | 24.26 | 24.48      | -           | -     | 13.71                       | 69.24      | -          | -            | 13.65                  | 101.54     | -          | -            | 403.0             | 38,074      | 34,552        | 13.69                  |
| セゾン投信      | セゾン<br>資産形成の達人ファンド          | 0.26     | 17.65 | 18.46      | -           | -     | 11.81                       | 43.32      | -          | -            | 13.42                  | 85.99      | -          | -            | 392.7             | 17,167      | 16,175        | 2.96                   |
| 鎌倉投信       | 結い 2101                     | 0.78     | 10.15 | 9.69       | -           | -     | 5.53                        | 20.51      | -          | -            | 12.66                  | 72.31      | -          | -            | 261.2             | 16,621      | 16,075        | 4.47                   |
| ありがとう投信    | ありがとうファンド                   | 0.09     | 13.09 | 13.28      | 1.52        | 17.59 | 7.62                        | 30.25      | 54.39      | -            | 12.91                  | 78.15      | 185.27     | -            | 114.1             | 16,200      | 15,360        | -1.14                  |
| コモンズ投信     | コモンズ30ファンド                  | 0.06     | 23.83 | 15.37      | -           | -     | 13.31                       | 39.58      | -          | -            | 13.60                  | 83.75      | -          | -            | 89.3              | 24,505      | 23,650        | 0.45                   |
| クローバー・アセット | コドモ ファンド                    | 0.30     | 18.59 | -          | -           | -     | 10.40                       | -          | -          | -            | 13.25                  | -          | -          | -            | 49.9              | 14,570      | 13,626        | -0.60                  |
| ユニオン投信     | ユニオンファンド                    | 0.43     | 19.76 | 11.04      | -           | -     | 11.79                       | 26.96      | -          | -            | 13.41                  | 76.18      | -          | -            | 49.1              | 22,426      | 21,144        | 0.33                   |
| コモンズ投信     | ザ・2020ビジョン                  | -1.51    | 21.61 | -          | -           | -     | 7.52                        | -          | -          | -            | 12.90                  | -          | -          | -            | 46.8              | 12,961      | 12,645        | -0.55                  |
| クローバー・アセット | 浪花おふくろファンド                  | 1.12     | 18.30 | 14.57      | -           | -     | 10.49                       | 39.77      | -          | -            | 13.26                  | 83.86      | -          | -            | 10.7              | 17,717      | 16,489        | 0.03                   |
| クローバー・アセット | らくちんファンド                    | 0.03     | 14.73 | 12.21      | -           | -     | 8.59                        | 31.05      | -          | -            | 13.03                  | 78.63      | -          | -            | 8.0               | 14,804      | 13,931        | -0.01                  |
| クローバー・アセット | かいたくファンド                    | 0.72     | 13.48 | 13.65      | -           | -     | 8.58                        | 34.29      | -          | -            | 13.03                  | 80.57      | -          | -            | 6.4               | 17,357      | 16,207        | -0.19                  |

\*積み立ては税引き前分配金再投資、計算月数分を運用したものとします。例えば1年の場合は2016年2月末に1万円で積み立てを開始し、2017年1月末投資分までの2月末における運用成果とする(2月の積み立て額は入れない)。  
出所: MorningstarDirectのデータを用いてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンが作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせは「投信まとなび」のお問い合わせメール(<https://www.matonavi.jp/inquiry>)にてお気軽にご送信ください。